

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 701教室
担当教員	櫻井 玲	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖生理学では、診療放射線技師として医療に携わっていくために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要となる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学 I では、生命の最小単位である細胞から始まり、組織、器官へと理解を進めた後に、特に診療放射線技師にとって最重要な「骨格系」を重点的に進めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学は、医療従事者にとって最小限の学問であるとともに、かつ最高位の学問です。そのため国家試験での配点・出題数も最たるものです。予復習はもちろんのこと、授業だけでなく、興味を持って積極的に学習に当たってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞～個体までの各段階を理解し、説明できる	教科書 配布資料	事前にまとめてプリントを配布するので、予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
		各コマにおける授業予定	解剖学とは 解剖学用語とその法則 様々な解剖学 解剖学における向きの考え方 細胞～個体へ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学で使われる身体の向き・方向を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次のまとめてプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
		各コマにおける授業予定	ヒトの体の解剖学による区分・名称 解剖学における方向の考え方			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の構造、関節の仕組みを理解し、説明できる	教科書 配布資料	次のまとめてプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
		各コマにおける授業予定	骨格系① 骨の構造:骨の構成要素 骨と骨のつながり、関節の仕組みと構成要素 その1			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の構造、関節の仕組みを理解し、説明できる	教科書 配布資料	次のまとめてプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
		各コマにおける授業予定	骨格系① 骨の構造:骨の構成要素 骨と骨のつながり、関節の仕組みと構成要素 その2			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の構造、関節の仕組みを理解し、説明できる	教科書 配布資料	次のまとめてプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
		各コマにおける授業予定	骨格系① 骨の構造:骨の構成要素 骨と骨のつながり、関節の仕組みと構成要素 その3			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その3		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その4		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その5		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その2		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頂骨～下部頸椎の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系② 骨の構造:頭蓋骨と頸椎 その6		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎～尾骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系③ 骨の構造:頸椎～仙骨・尾骨 その1		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎～尾骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系③ 骨の構造:頸椎～仙骨・尾骨 その2		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎～尾骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系③ 骨の構造:頸椎～仙骨・尾骨 その3		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時間	前期	教室名	第3校舎 701教室
担当教員	櫻井 玲	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 解剖生理学では、診療放射線技師として医療に携わっていくために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要となる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を習得する。解剖生理学 I では、生命の最小単位である細胞から始まり、組織、器官へと理解を進めた後に、特に診療放射線技師にとって最重要な「骨格系」を重点的に進めていく。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書「人体の構造と機能 第6版」 上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏 著 医歯薬出版						
《授業外における学習方法》 シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》 解剖生理学は、医療従事者にとって最小限の学問であるとともに、かつ最高位の学問です。そのため国家試験での配点・出題数も最たるものです。予復習はもちろんのこと、授業だけでなく、興味を持って積極的に学習に当たってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	胸郭を構成している骨群の概要を理解し、説明できる		教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
	各コマにおける授業予定	骨格系④ 骨の構造:胸郭を構成する骨 その1				
第17回	授業を通じての到達目標	胸郭を構成している骨群の概要を理解し、説明できる		教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
	各コマにおける授業予定	骨格系④ 骨の構造:胸郭を構成する骨 その2				
第18回	授業を通じての到達目標	上肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる		教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
	各コマにおける授業予定	骨格系⑤ 骨の構造:上肢を構成する骨 その1				
第19回	授業を通じての到達目標	上肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる		教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
	各コマにおける授業予定	骨格系⑤ 骨の構造:上肢を構成する骨 その2				
第20回	授業を通じての到達目標	上肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる		教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。	
	各コマにおける授業予定	骨格系⑤ 骨の構造:上肢を構成する骨 その3				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑥ 骨の構造: 下肢を構成する骨 その1		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑥ 骨の構造: 下肢を構成する骨 その2		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢を構成する骨の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	骨格系⑥ 骨の構造: 下肢を構成する骨 その3		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の種類の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	筋系① 筋肉とは 構造と種類 随意筋と不随意筋		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の筋肉の概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	筋系② 全身にある様々な筋肉とその役割		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	動脈・静脈についての概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	脈管系① 血管の構造 心臓の構造 動脈と静脈		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と体循環・肺循環について理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	脈管系② 心臓の構造 循環器系の概要(体循環と肺循環)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液の種類について概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	体液 血液・リンパ液・脳脊髄液など		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫システムについて概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	生体の防御機構 免疫システム、リンパ系システム		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の仕組みについて概要を理解し、説明できる	教科書 配布資料	次回のまとめプリントを配布するので、事前に予習しておくこと。 当日は、講義内容を自分なりに咀嚼・理解し、確実に習得していくこと。
		各コマにおける授業予定	呼吸器系 呼吸器系の概要 呼吸の仕組み		